



經濟情勢報告

〈鹿兒島県〉

令和3年4月

財務省九州財務局
鹿兒島財務事務所

1. 総論

【総括判断】「県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある」

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡

（注）令和3年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、宿泊・観光面で厳しい状況が続いている一方、引き続き巣ごもり需要による動きがみられることなどから、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、下げ止まりの兆しがみられるものの、感染症の影響により、弱い動きが続いている。

【各項目の判断】

項目	前回（3年1月判断）	今回（3年4月判断）	前回比較
----	------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるもの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるもの、緩やかに持ち直しつつある	➡
生産活動	新型コロナウイルス感染症の影響により、一進一退の状況にある	緩やかに持ち直しつつある	➡
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている	下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている	➡

設備投資	2年度は減少見込み	2年度は増加見込み	➡
企業収益	2年度は減益見込み	2年度は減益見込み	➡
企業の景況感	「下降」超幅が縮小している	「下降」超幅が拡大している	➡
住宅建設	前年を下回っている	前年を上回っている	➡
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	➡
倒産	倒産件数、負債金額ともに前年を下回っている	倒産件数、負債金額ともに前年を下回っている	➡

【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、県内の感染拡大による下振れリスクの高まりに十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

「百貨店・スーパー販売」は、引き続き巣ごもり需要による動きがみられたことに加え、客足に戻りがみられることから、持ち直しつつある。「家電大型専門店販売」は、巣ごもり需要に一服感がみられるものの、堅調に推移している。「ドラッグストア販売」は、引き続き衛生用品等が好調である。「コンビニエンスストア販売」は、外出自粛の影響により都市部などの売上が落ち込んでいることから、弱含んでいる。「新車販売」は、堅調に推移している。「主要観光地の宿泊客数」及び「主要観光施設の入場者数」は、感染症等の影響により客足が大きく増減しているなか、厳しい状況が続いている。

(主なヒアリング結果)

- 年明け以降、客足に戻りがみられる。県内の感染状況を注視しつつ、対策を徹底してイベント再開を予定している。(百貨店・スーパー)
- テレビなどに落ち着きがみられるが、空気清浄機・調理家電・掃除機など、身の回りの家電を中心に好調が継続。(家電大型専門店)
- 医薬品が不調であるものの、引き続き衛生用品や食料品などの好調が継続。(ドラッグストア)
- 住宅地や郊外店は好調が続いている一方、観光地や空港、繁華街付近の戻りが弱く、当分厳しい見通し。(コンビニエンスストア)
- 半導体不足の影響は現時点ではみられず、新型車の投入効果が続いている印象。(自動車販売店)
- 感染症の影響が落ち着くまで、限定的な営業によりコスト削減を図る。(宿泊施設)
- 修学旅行の来館予約がみられたが、依然として水準は低い。(県内主要観光施設)

■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

主な業種をみると、「食料品」は、感染症の影響により焼酎などで引き続き弱含んでいるものの、巣ごもり需要により食肉の一部で持ち直しの動きがみられるなど、一進一退の状況にある。「電子部品・デバイス」は、テレワーク、5G関連の受注が堅調に推移するなど、持ち直しつつある。

- 引き続きテレワーク関連製品の受注や5Gスマートフォン向けの受注が堅調に推移している。(電子部品・デバイス)
- 外出自粛等により、家庭向け焼酎パック製品などで相応の需要は継続しているが、飲食店向けなど業務用の戻りが鈍い。(食料品)
- 食肉において、飲食店向けの出荷の戻りは鈍いが、巣ごもり需要によるスーパーなど小売店向けの出荷は引き続き好調となっている。(食料品)

■ 雇用情勢 「下げ止まりの兆しがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きが続いている」

有効求人倍率は1倍台を維持しており、新規求人数は下げ止まりの兆しがみられるものの、宿泊業・飲食サービス業などで引き続き厳しい状況にある。

- 3年2月の有効求人倍率(季節調整値)は1.15倍であり、58ヶ月連続の1倍台を維持したものの、感染症の影響を注視しながら、慎重に求人を行う傾向は継続している。(労働局)
- 新規求人数は一部の業種で持ち直しの動きがみられるが、先行きは感染症の状況次第であり、依然として不透明。(労働局)
- 直近は予約に多少の戻りがみられるものの、年明け以降、キャンセルや予約減少により客室の稼働率が落ち、現状は人手が過剰気味となっている。(宿泊業)
- 感染症の影響により業績は悪化しているものの、工場の稼働に必要な人員確保のため、採用活動は例年並みで実施する予定である。(食料品)

- **設備投資** 「2年度は増加見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期
 - 製造業では「情報通信機械」や「食料品」等を中心に増加見込みとなっている。
 - 非製造業では「金融、保険」や「小売」等を中心に減少見込みとなっている。

- **企業収益** 「2年度は減益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期
 - 製造業では「情報通信機械」や「パルプ・紙」等を中心に減益見込みとなっている。
 - 非製造業では「運輸」や「小売」等を中心に減益見込みとなっている。

- **企業の景況感** 「『下降』超幅が拡大している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」3年1-3月期
 - 企業の景況判断BSIは、前期(2年10-12月期)に比べ、全産業では「下降」超幅が拡大している。
 なお、先行きは、翌期(3年4-6月期)は「下降」超幅が縮小し、翌々期(3年7-9月期)は「上昇」超に転じる見通しとなっている。

- **住宅建設** 「前年を上回っている」
 - 新設住宅着工戸数で見ると、前年を上回っている。

- **公共事業** 「前年度を上回っている」
 - 公共工事前払金保証統計の請負金額(2年度累計)で見ると、前年度を上回っている。

- **倒産** 「倒産件数、負債金額ともに前年を下回っている」

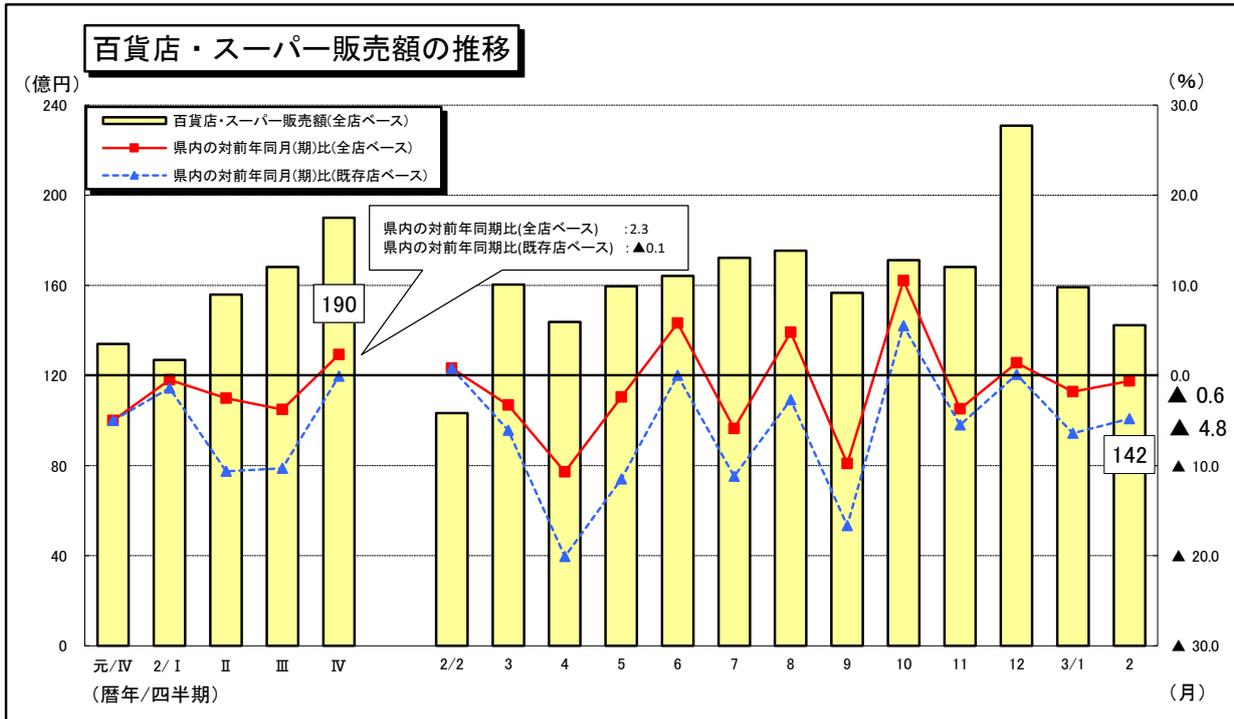
- **農業(畜産物)**
 - 和牛のと畜頭数は前年を下回っており、枝肉卸売価格は前年を上回っている。
 - 豚のと畜頭数は前年を下回っており、枝肉卸売価格は前年を上回っている。
 - ブロイラーの処理羽数は前年をやや下回っており、卸売価格は前年を上回っている。

【 参 考 資 料 】

	頁
1. 個 人 消 費	参一1
2. 生 産 活 動	参一4
3. 雇 用 情 勢	参一6
4. 設 備 投 資	参一7
5. 企 業 収 益	参一8
6. 企 業 の 景 況 感	参一9
7. 住 宅 建 設	参一10
8. 公 共 事 業	参一11
9. 倒 産	参一12
10. 農 業 (畜 産 物)	参一13

1. 個人消費

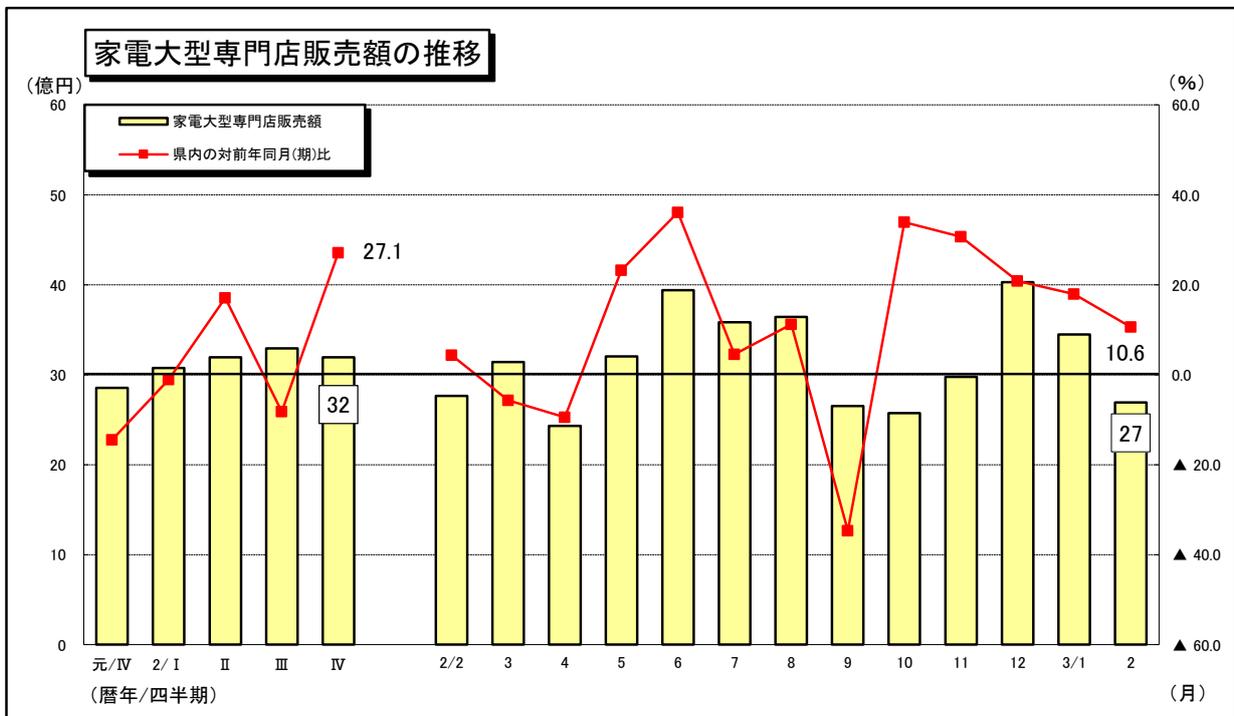
資料 1



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

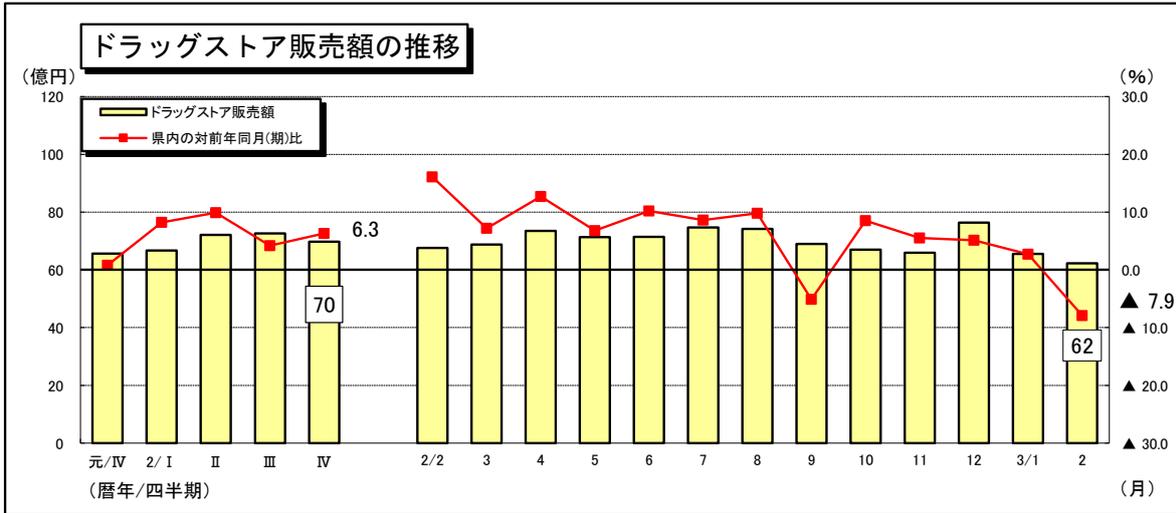
資料 2



注：四半期の棒グラフは月平均。

(資料：経済産業省)

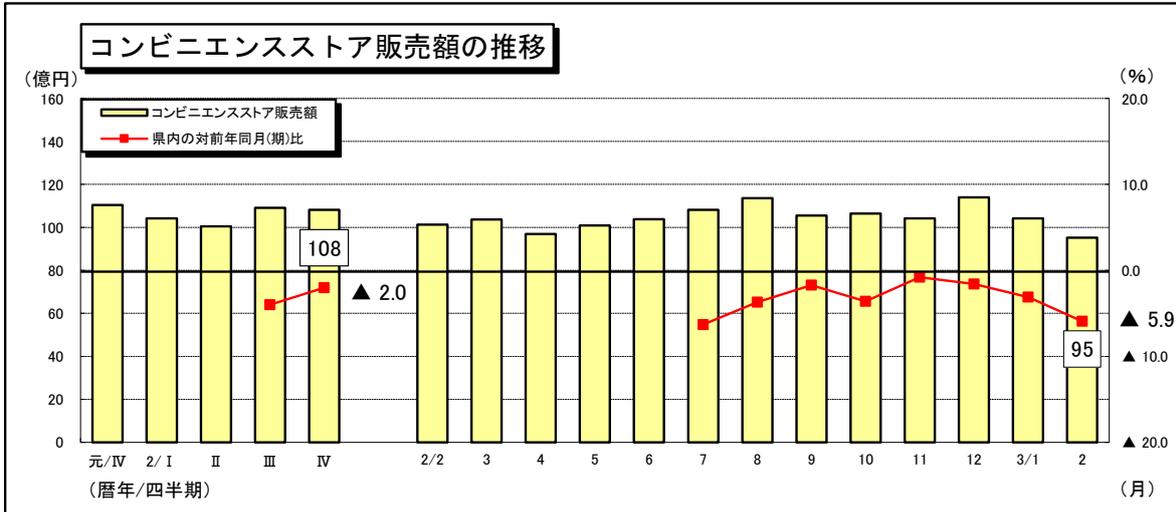
資料3



注：四半期の棒グラフは月平均。

（資料：経済産業省）

資料4

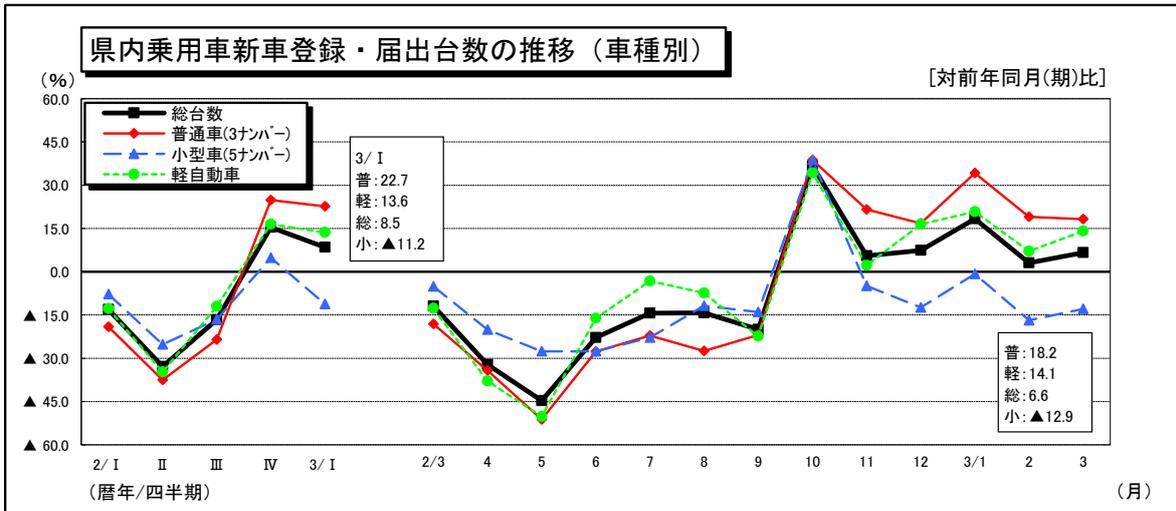


注1：経済産業省公表データより、元年7月の公表値から集計。

（資料：経済産業省）

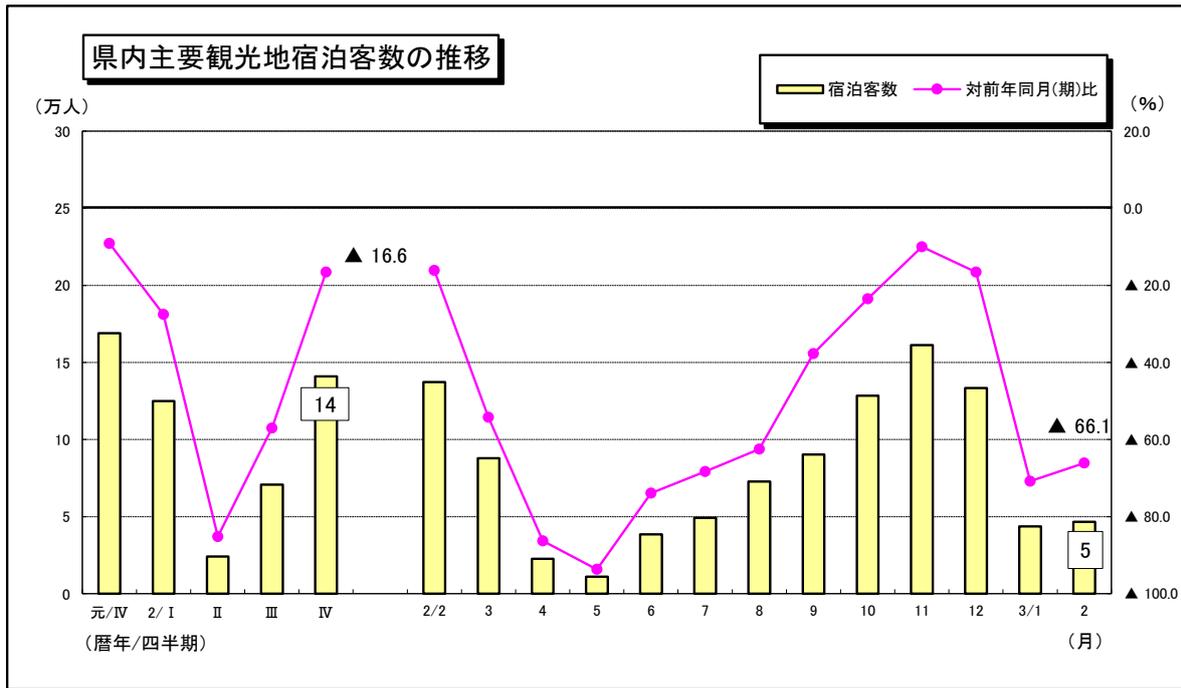
注2：四半期の棒グラフは月平均。

資料5

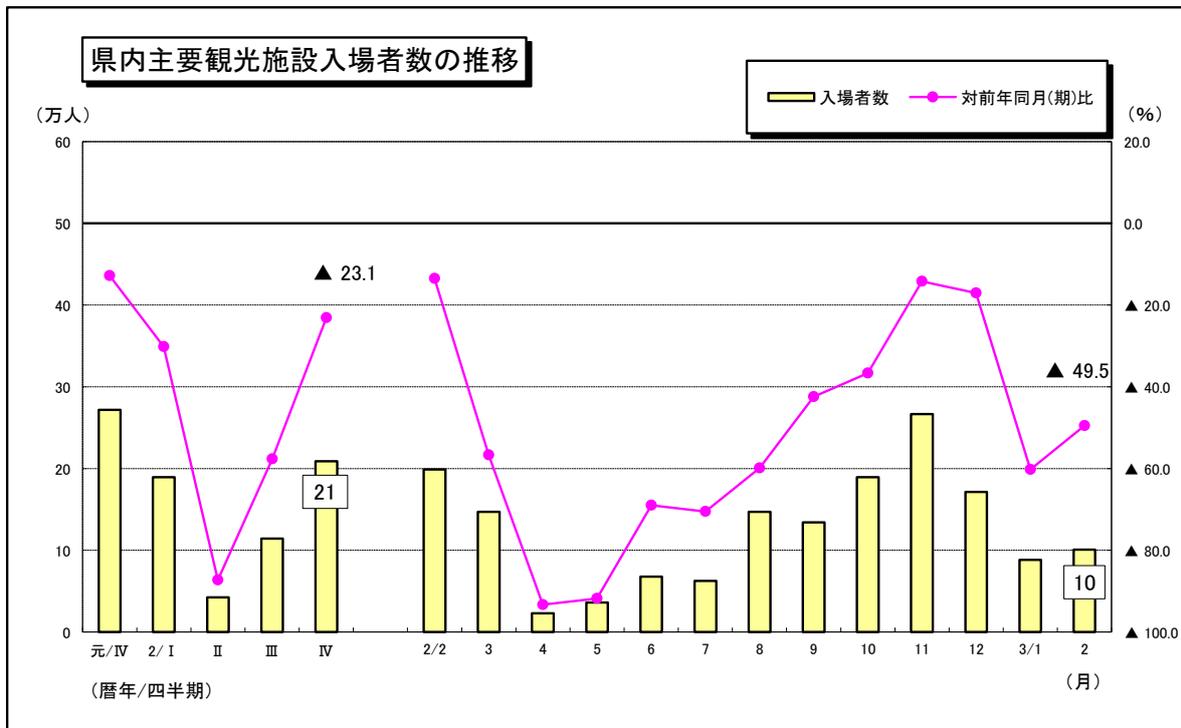


（資料：国土交通省、全国軽自動車協会連合会）

資料 6

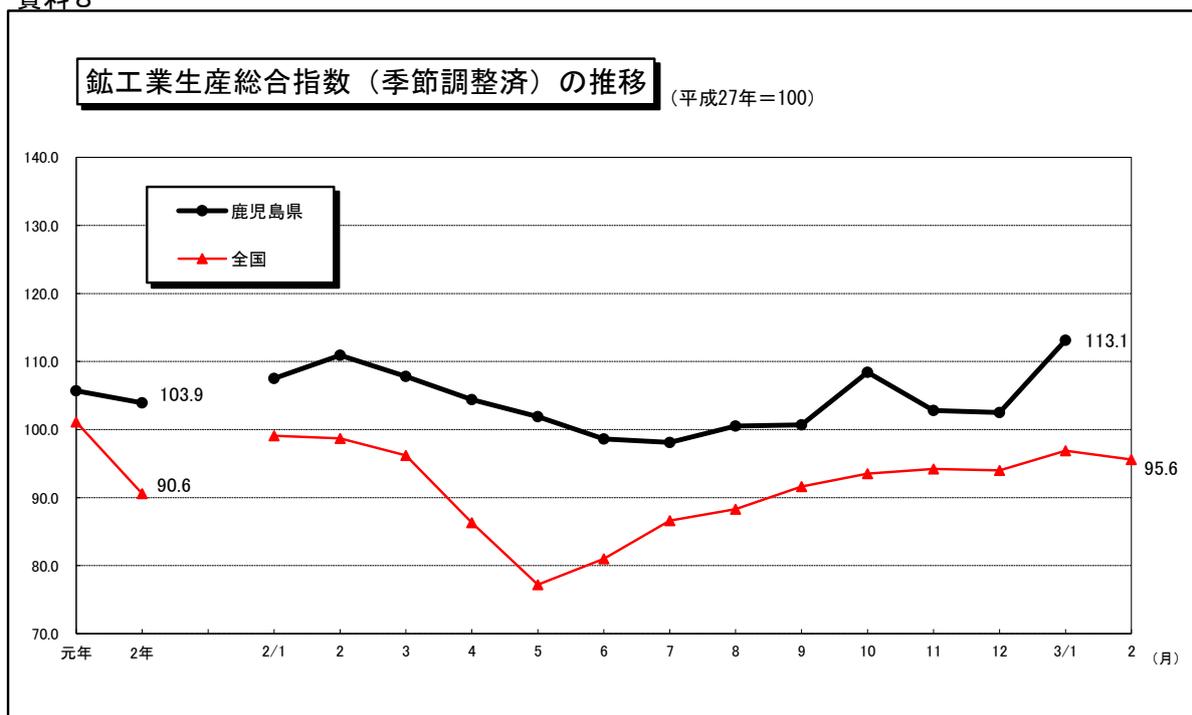


資料 7



2. 生産活動

資料8

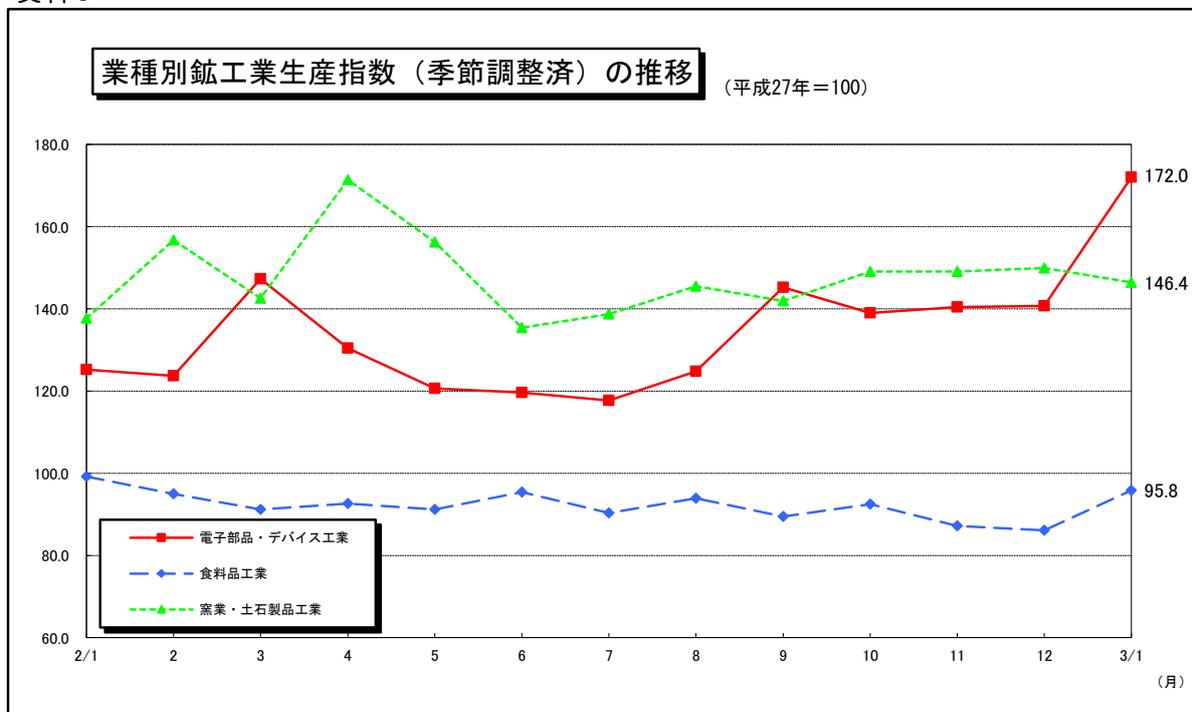


注1：年次の指数は原指数。

(資料：経済産業省、鹿児島県)

注2：鹿児島県の3年1月は速報値。

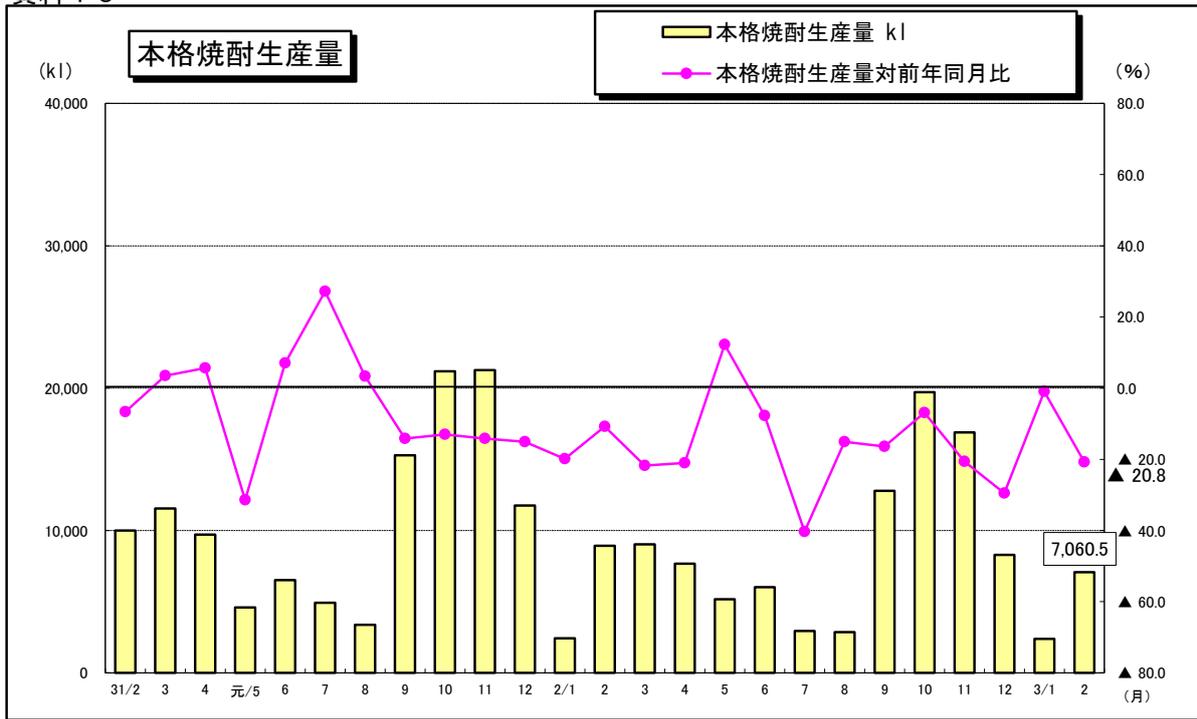
資料9



注：3年1月は速報値。

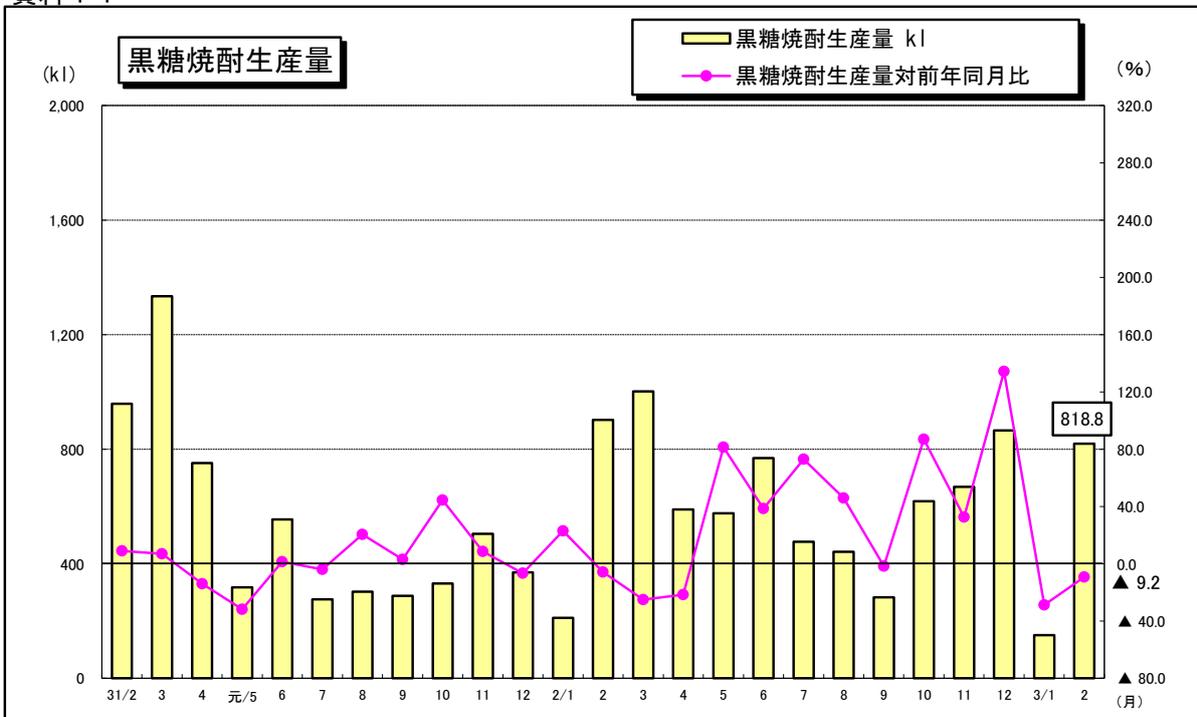
(資料：鹿児島県)

資料 1 0



(資料：鹿児島県酒造組合)

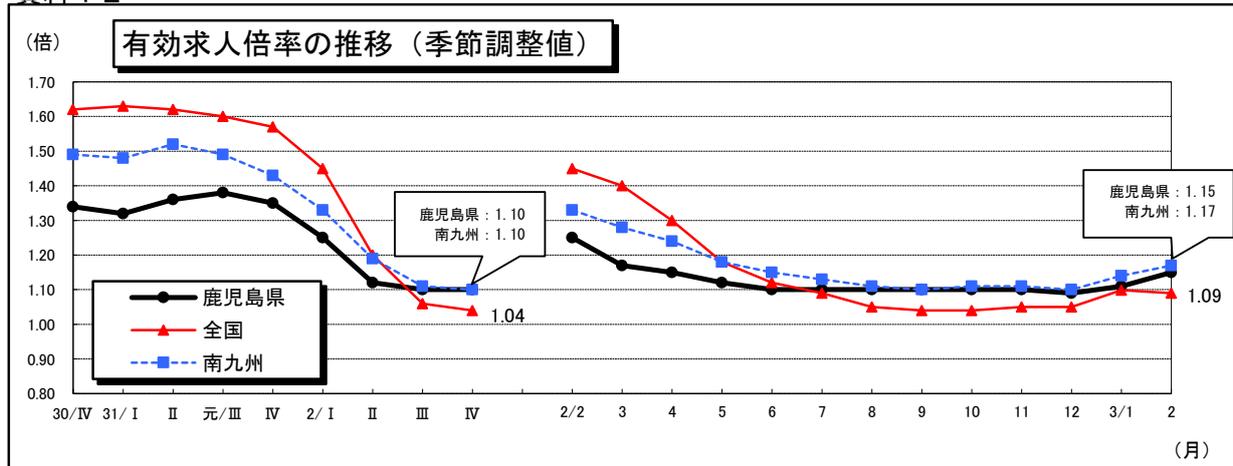
資料 1 1



(資料：鹿児島県酒造組合)

3. 雇用情勢

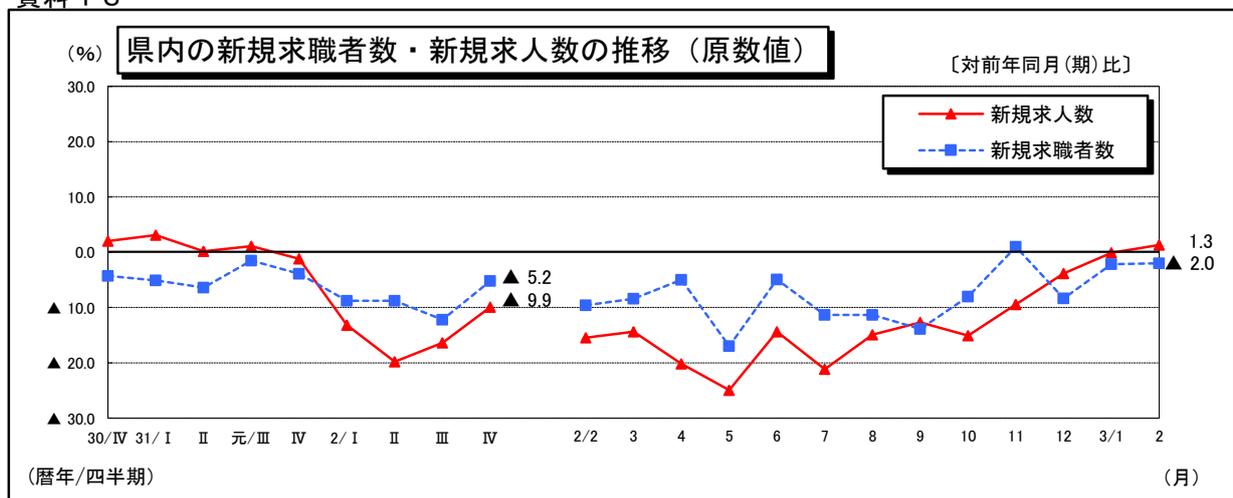
資料 1 2



注：パートを含む。

(資料：厚生労働省)

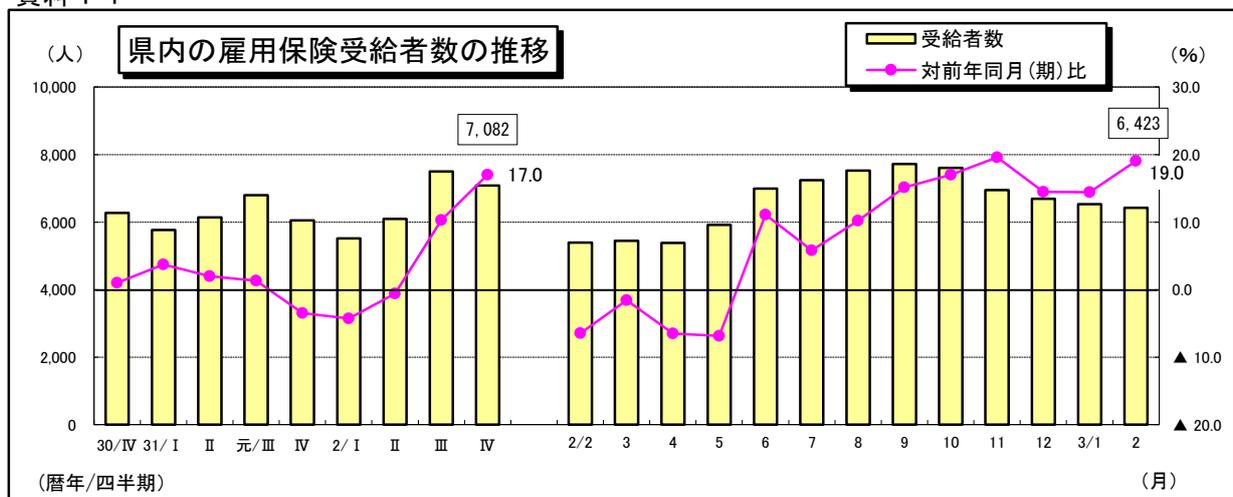
資料 1 3



注：パートを含む。

(資料：厚生労働省)

資料 1 4

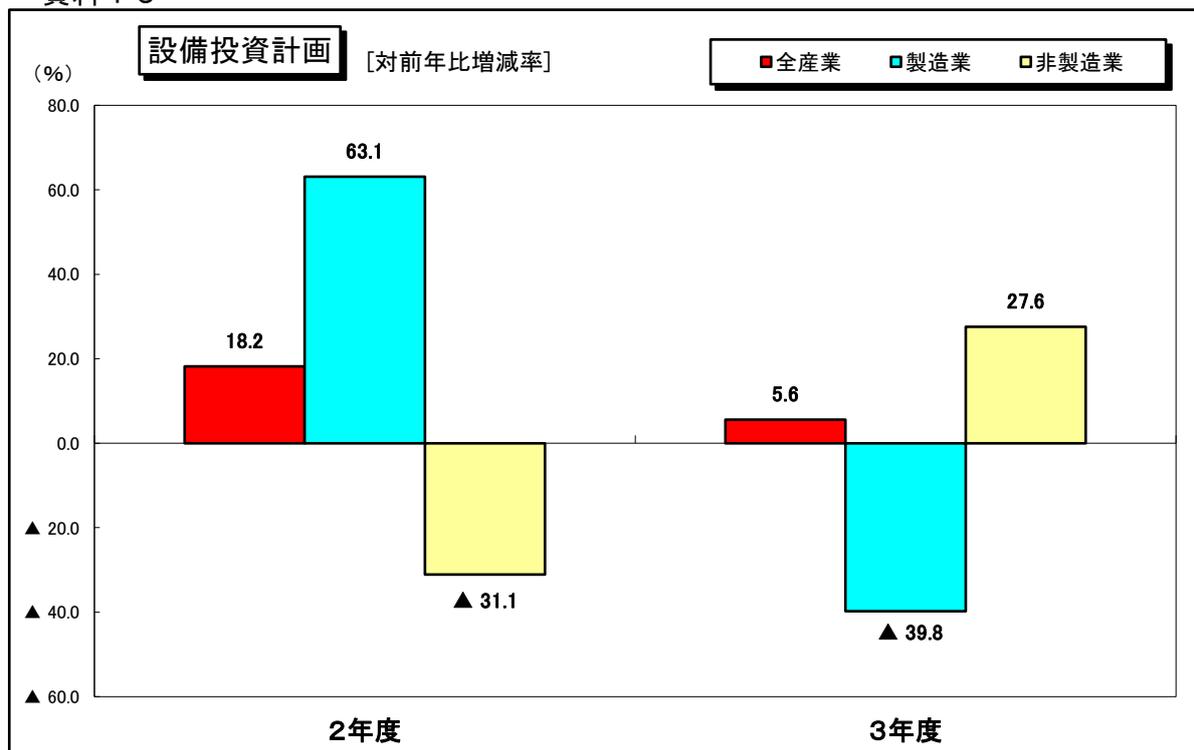


注：四半期の棒グラフは月平均。パートを含む。

(資料：厚生労働省)

4. 設備投資

資料 1 5



設備投資[対前年比増減率]

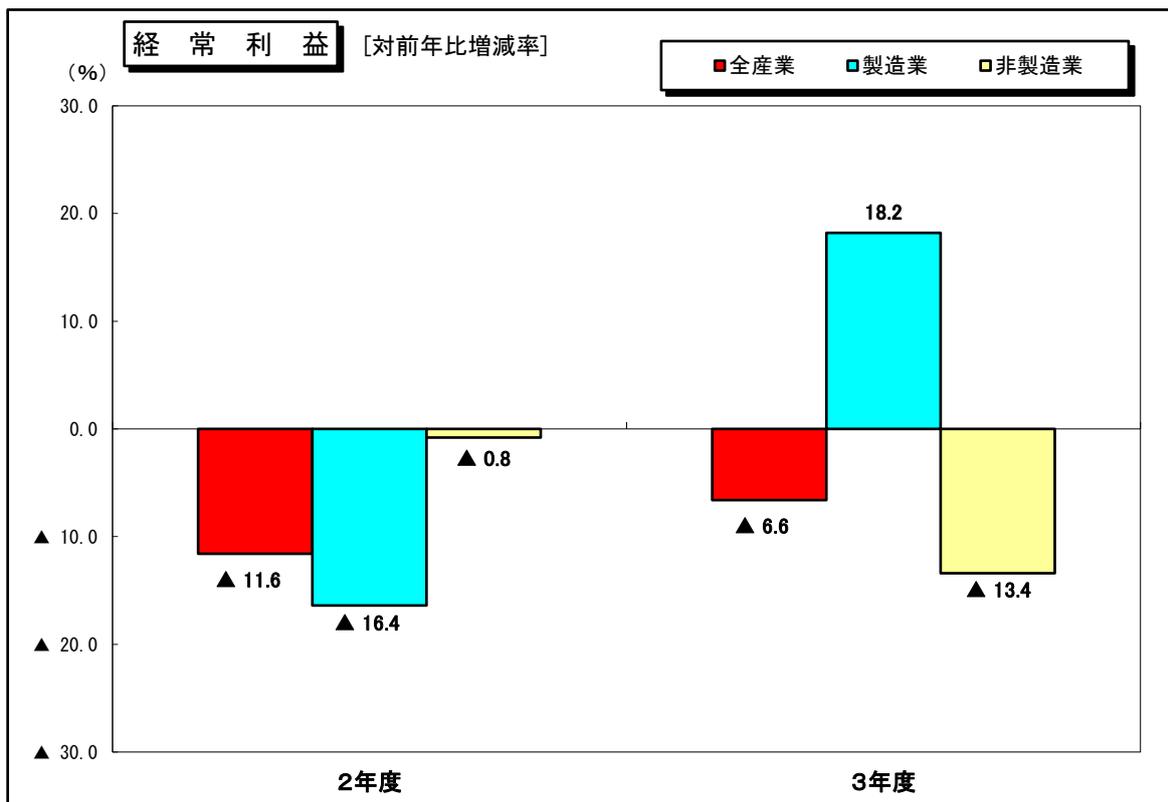
(単位：社、%)

	回答 企業数	2年度	回答 企業数	3年度
全産業	82	18.2	78	5.6
製造業	19	63.1	17	▲ 39.8
非製造業	63	▲ 31.1	61	27.6
大企業	19	31.5	18	▲ 19.4
中堅企業	21	▲ 48.9	20	136.7
中小企業	42	5.4	40	4.3

(資料：鹿児島財務事務所(法人企業景気予測調査))

5. 企業収益

資料 1 6



經常利益[対前年比増減率]

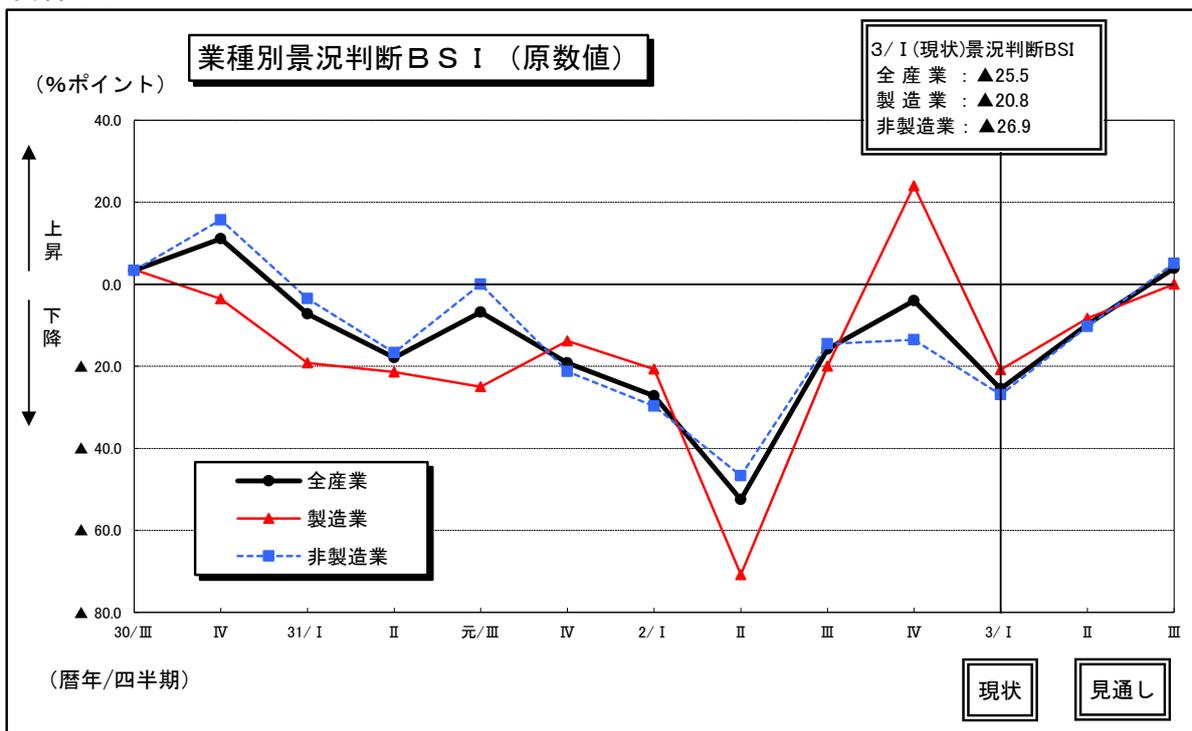
(単位：社、%)

	回答 企業数	2年度	回答 企業数	3年度
全産業	71	▲ 11.6	67	▲ 6.6
製造業	19	▲ 16.4	17	18.2
非製造業	52	▲ 0.8	50	▲ 13.4
大企業	11	▲ 4.4	10	▲ 12.1
中堅企業	19	▲ 58.2	18	32.3
中小企業	41	▲ 59.4	39	33.5

(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

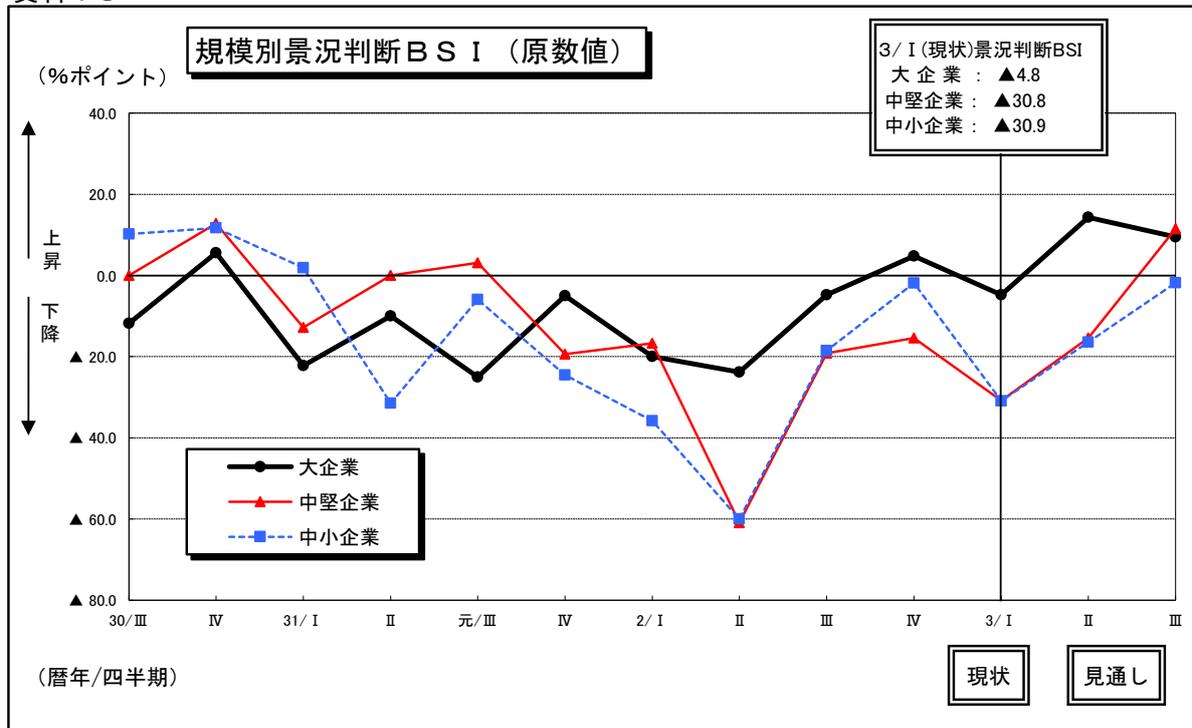
6. 企業の景況感

資料 17



(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

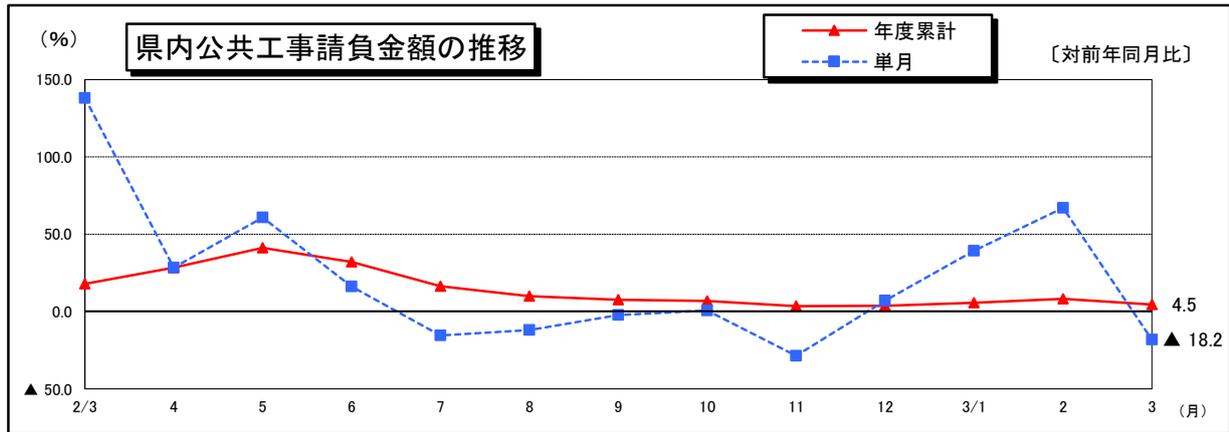
資料 18



(資料：鹿児島財務事務所（法人企業景気予測調査）)

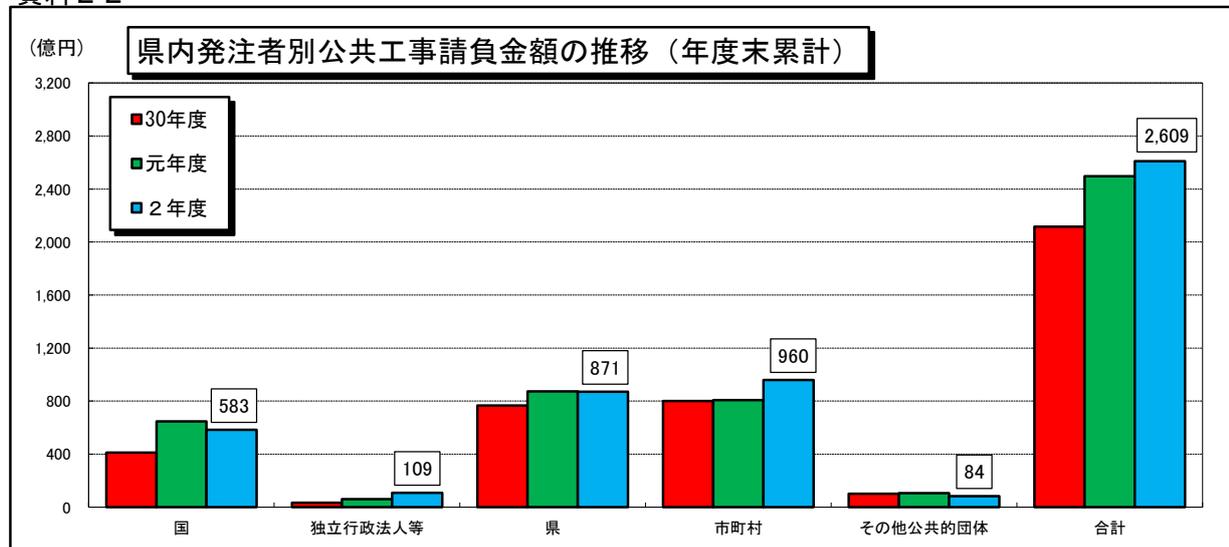
8. 公共事業

資料 2 1



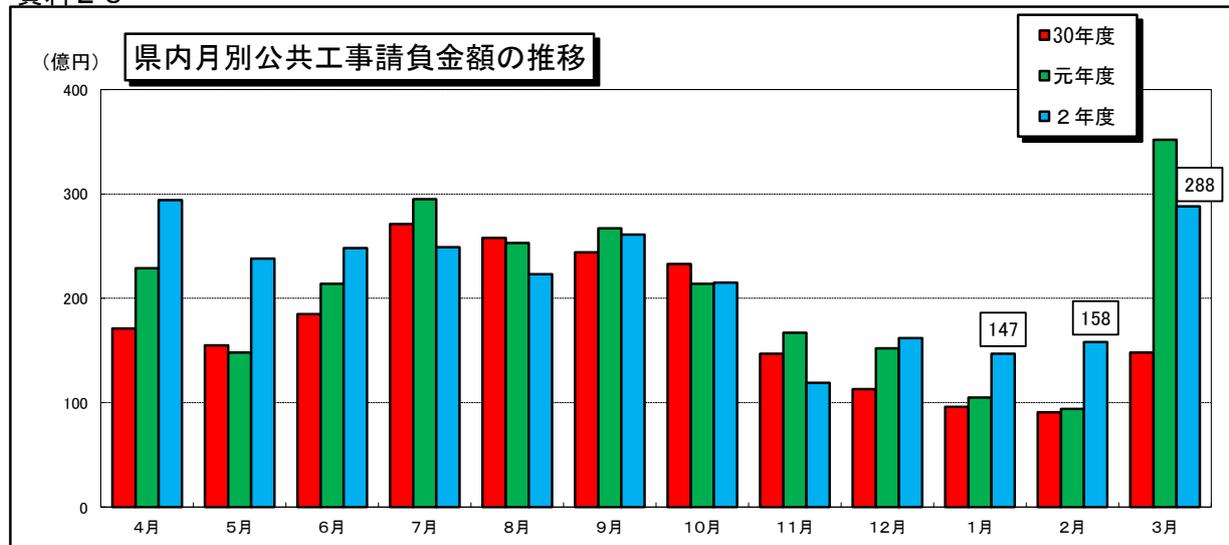
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

資料 2 2



(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

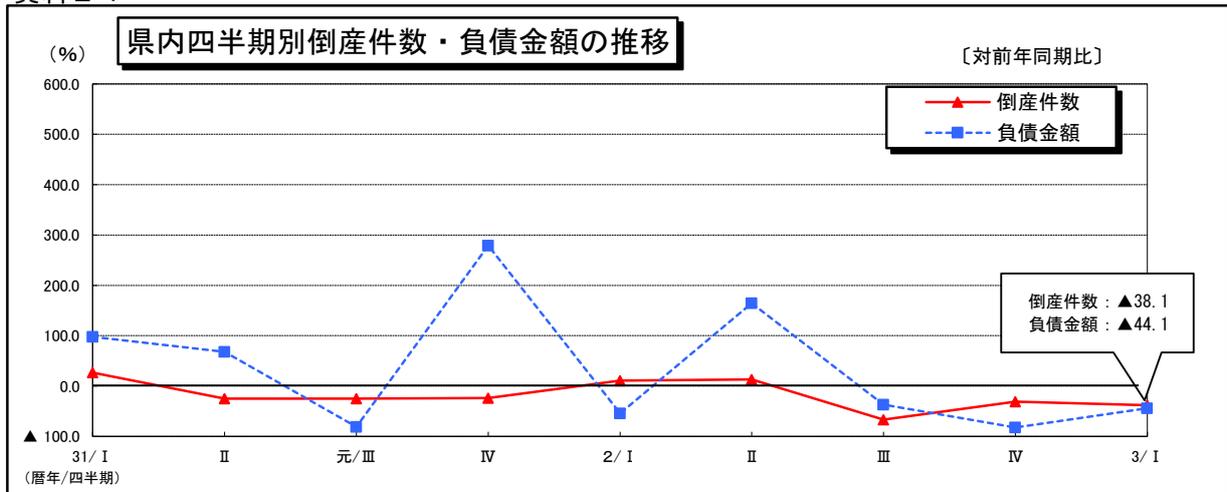
資料 2 3



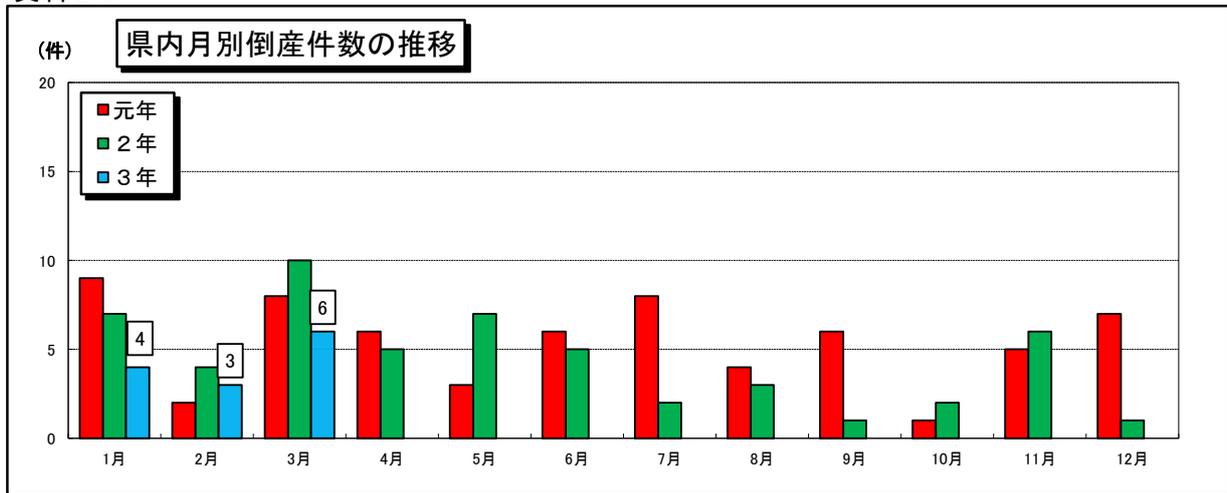
(資料：北海道建設業信用保証㈱、東日本建設業保証㈱、西日本建設業保証㈱)

9. 倒産

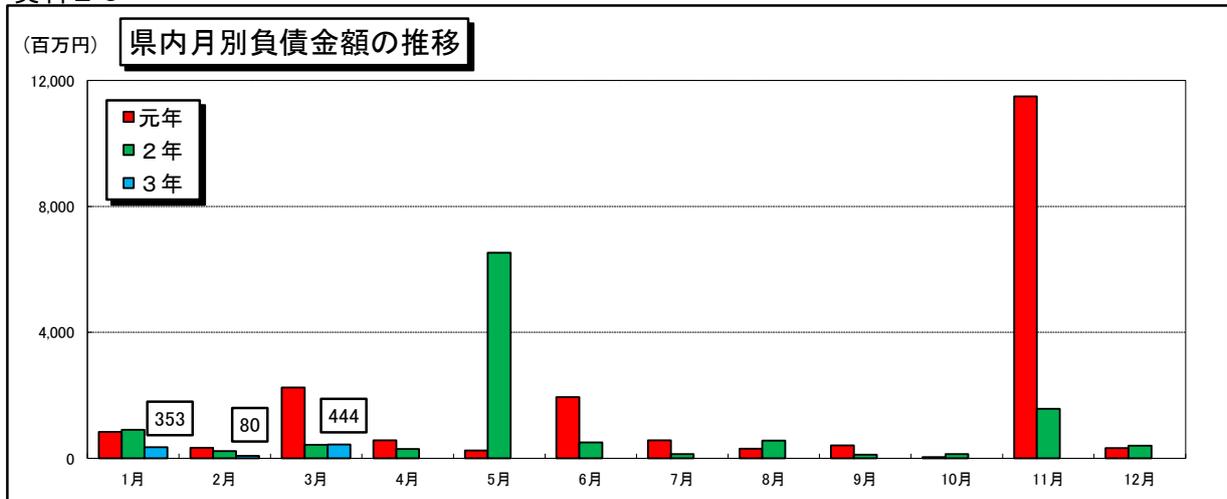
資料 2 4



資料 2 5

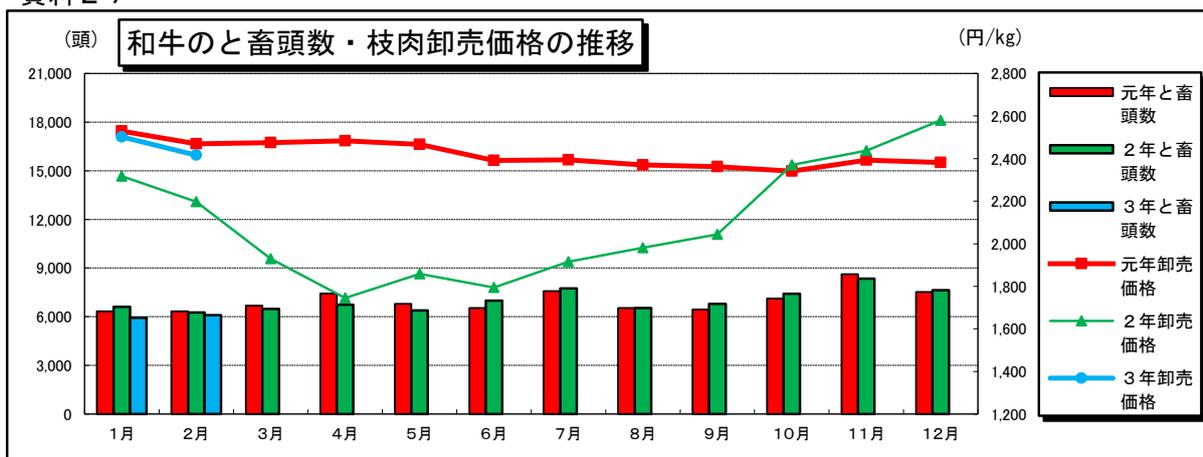


資料 2 6



10. 農業（畜産物）

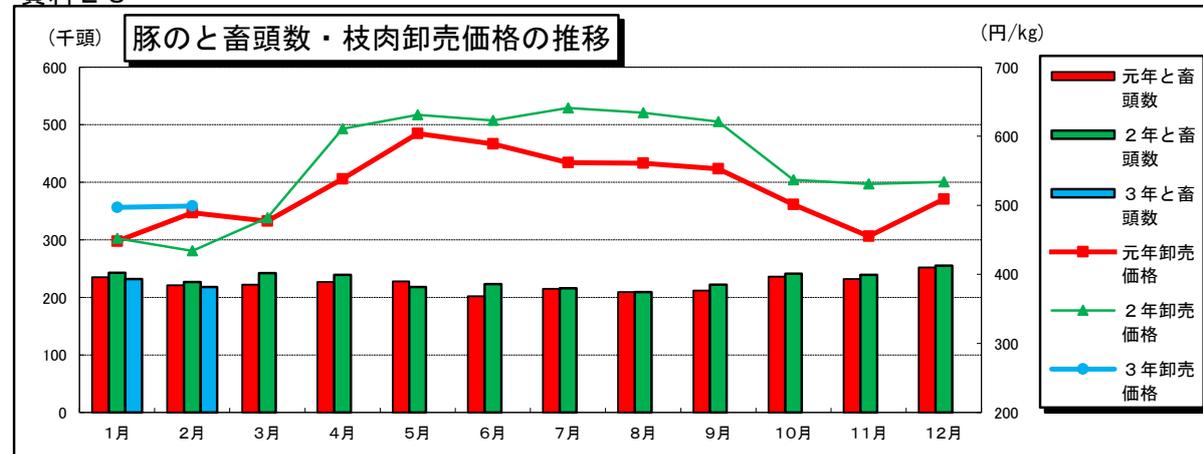
資料 27



注：枝肉卸売価格は、大阪市場去勢和牛A4の加重平均価格。
2年、3年のと畜頭数は速報値。

（資料：農林水産省）

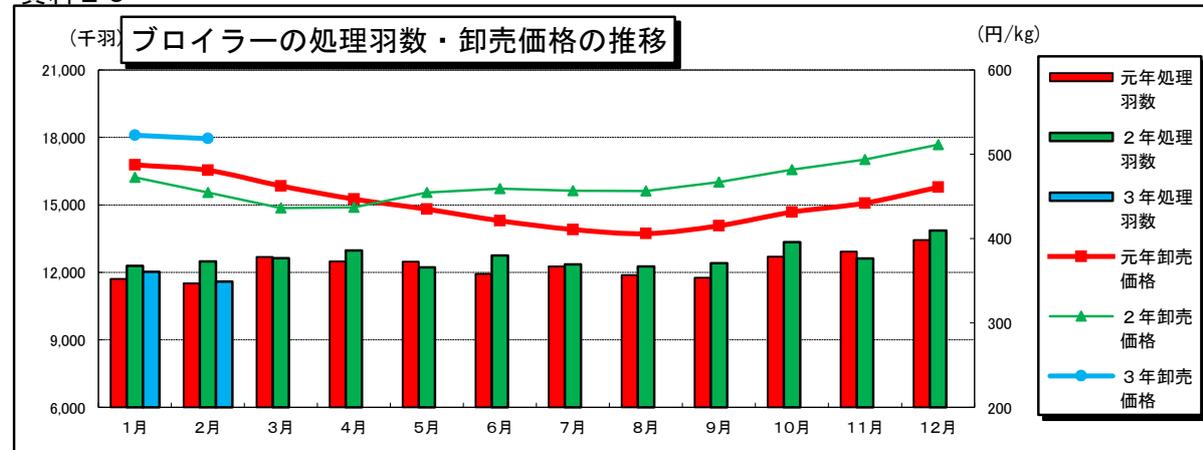
資料 28



注：枝肉卸売価格は、東京市場「上物」の加重平均価格。
2年、3年のと畜頭数は速報値。

（資料：農林水産省）

資料 29



注：価格は東京中値の「もも」と「むね」の加重平均価格。

（資料：鹿児島県、独立行政法人農畜産業振興機構）

【連絡問い合わせ先】

九州財務局鹿児島財務事務所財務課
099-226-6155
ホームページアドレス
<http://kyusyu.mof.go.jp/kagoshima/>